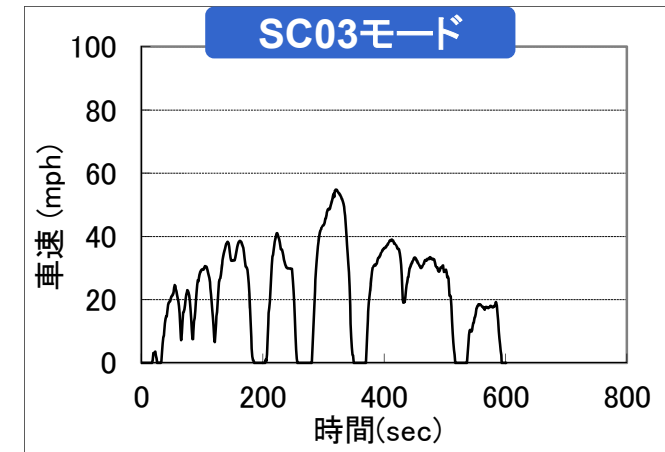
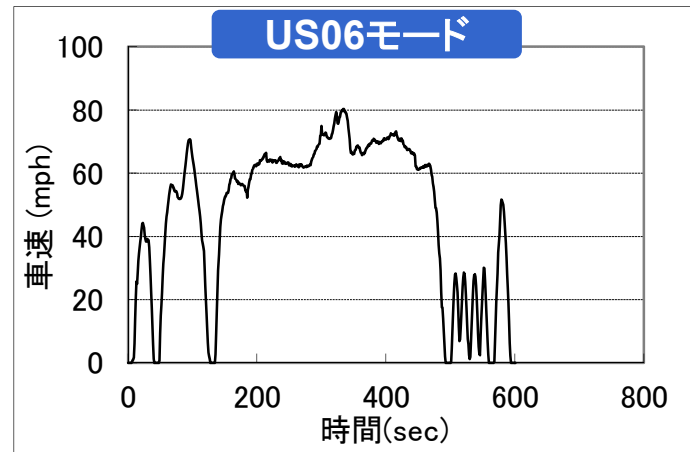
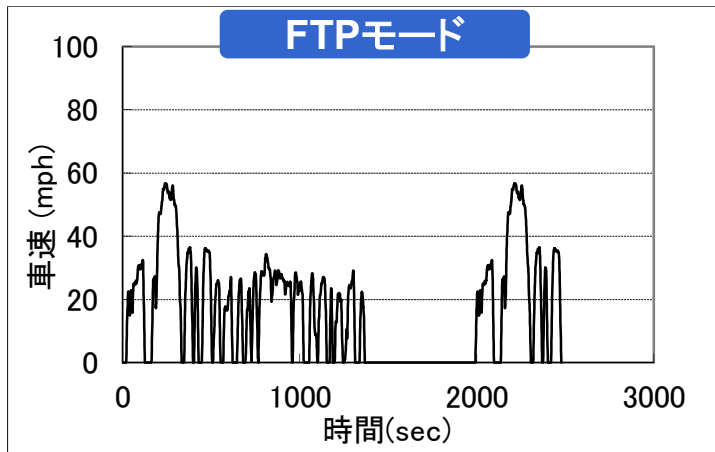




1. 認証試験の動向

- VWの排出ガス不正事案を受け、認証の際に、当局が必要に応じ追加の台上試験及び路上走行試験を実施。
- 自動車メーカーによる事前対策を防ぐことを目的に試験方法については非公表。

(参考) 通常の認証試験(台上試験)に使用する主な試験モード



FTPモードは、市街地走行における常温時と低温時(-7°C)の環境下での排出ガス測定に使用する。

US06モードは、高速・高加速時の排出ガス測定に使用する。

SC03モードは、エアコン作動時の排出ガス測定に使用する。

2. サーベイランスの動向

米国サーベイランス制度の概要

EPA (米国環境保護庁)

試験実施者	自動車メーカー
抜き取り車両台数	① 走行距離10,000マイル以上の車両 (当該モデル年の終了後1年以内) ・2台(販売台数: ~50,000台/年) ・3台(販売台数: ~250,000台/年) ・4台(販売台数: 250,000台~/年) ② 走行距離50,000マイル以上の車両 (当該モデル年の終了後4年~5年以内) ・4台(販売台数: ~50,000台/年) ・5台(販売台数: ~250,000台/年) ・6台(販売台数: 250,000台~/年)
試験項目	FTPモード、US06モード
合格基準	排出ガス基準値×1.3を平均で超えないか、又は超えた車両の台数が全体の50%未満であること。

CARB (加州大気資源局)

試験実施者	自動車メーカー
抜き取り車両台数	① 走行距離10,000マイル以上の車両 (当該モデル年の終了後1年以内) ・2台(販売台数: 4,500~15,000台/年) ・3台(販売台数: ~25,000台/年) ・4台(販売台数: 25,000台~/年) ② 走行距離50,000マイル以上の車両 (当該モデル年の終了後4年~5年以内) ・4台(販売台数: 4,500~15,000台/年) ・5台(販売台数: ~25,000台/年) ・6台(販売台数: 25,000台~/年)
試験項目	LA#4モード、US06モード
合格基準	排出ガス基準値×1.3を平均で超えないか、又は超えた車両の台数が全体の50%未満であること。

※この他、EPAが自らサーベイランスを行う。1モデルあたり3台の試験を行い、そのうち基準値を満たさないものがあれば、追加で2台の試験を行う。(年間140~150台実施)

※この他、CARBや試験機関がサーベイランスを行う。10台の同一エンジンファミリー、テストグループの加州登録車について試験を行い、排出ガス関連の同一部品の故障が2つ以下で、かつ、測定結果の平均値が基準値以下であることを確認する。